

今年度は、新型コロナウイルス感染症や集中豪雨による災害と、慌ただしい幕開けとなりました。感染症は未だ終息する気配はなく世界経済にも影を落とし、感染拡大で医療現場への負担も増していくことが懸念されています。また豪雨災害では、まだまだ被災の跡片付けに追われ、新しい生活を再開するには時間も労力もかかる状況に加え、気温上昇に感染症対策も重なり、大変ご苦労をされていらっしゃることに拝察いたします。

山口県栄養士会の活動においても、一堂に会しての総会が開催できず、研修会や地域の活動にも感染症に配慮した新たな取り組みを模索していかなくてはならない状況です。

大変な年ではありますが、公益法人として、また食と栄養の国家資格保有者の会として、社会に貢献できる活動を会員一丸となって行っていきましょう。

会員の皆様へ 「令和2年度(2020年度)はじまりにあたり」

公益社団法人山口県栄養士会 会長 中谷 昌子

令和2年度(2020年度)通常総会が異例の書面決議となりお話しする機会もなく新年度がはじまりました。

4月16日、山口県も新型コロナウイルス感染症拡大防止の緊急事態宣言の対象地となり、3密の回避や移動・外出の自粛等が発表されました。5月25日に解除はされましたが、その後収束することなく都市部を中心に感染者の増加に歯止めはかかっておらず、県内でも感染が相次いで確認されています。皆様におかれましては切迫した状況の中、医療・福祉をはじめ各現場での活動を支える管理栄養士・栄養士、そして関係者の皆様に感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度(2020年度)事業の実施に大きな影響を与えており、予定していました地域及び職域の事業及び研修会等の開催が、中止や延期、内容の変更を余儀なくされております。また、開催方法も検討をしなければなりません。予算につきましても、中止や延期、内容変更により大幅な増減が予想されます。世界規模で拡大した新型コロナウイルス感染症は、これからの会の在り方に大きな影響を及ぼすと思われるのですが、会員の皆様と力を合わせまして、この危機を乗り越えたいと思っております。併せましてWeb

やホームページなど活用し情報の提供等細やかな対応を実施してまいります。

現在、免疫に関与する栄養は、エネルギー、たんぱく質、n-3系脂肪酸、食物繊維、ビタミンA、ビタミンD、ビタミンE、ビタミンB群、ビタミンC、鉄、亜鉛、セレン、そして乳酸菌と言われています。日頃の食事からこれらの栄養素を摂り、その栄養素は総合的に作用し健康を維持することから、栄養バランスのとれた食事が力になると考えられます。第2波・3波の発生が危惧される中、栄養の力を実行できる私たち管理栄養士・栄養士の活動は、これからの県民の皆様の健康づくりには今まで以上に重要になると考えられます。

山口県栄養士会は会員の皆様が各現場で活躍できるように、理事全員で力を合わせ取り組んでまいります。皆様のご協力とご理解をいただきますようよろしくお願い致します。



『新年度事業部長と運営委員の紹介』

総務部長(副会長)

福田 裕子



「新総務部長として」

コロナの為に今までとは違った山口県栄養士会の運営について、総務部としての模索が続いております。今までに経験のない事の判断を会員の皆様と一緒に考えながら実行出来ればと思います。2年間よろしく願いいたします。

運営委員 会長 中谷 昌子
副会長 野崎あけみ

本会事業部長

有富 早苗



「管理栄養士・栄養士のアピールに向けて」

食と栄養の啓発普及を通して健康増進に関する研修会をはじめ、栄養ケアステーション・災害時における食と栄養の支援等について、会員の方と運営委員で力を合わせ、COVID-19に負けない様企画運営をいたしますので、よろしく願いいたします。

運営委員 秋貞 泰子・橋本はるみ
山上里枝子・吉正 久美

職域事業部長

田中 光恵



「楽しく活動」をモットーに!

栄養士会に入会し、これまで助けられた事が多く感謝しています。まだまだ未熟で、またこの変革期に就任することは、「頑張れ!」ということなのでしょうね。「楽しく活動」をモットーに栄養士会を盛り上げていきたいと思っています。どうぞよろしく願い致します。

運営委員 河村 朋美・田村 芳子

地域事業部長

中川 初美



「就任のご挨拶」

感染症で地域活動が制限される中でも、栄養士が住民に寄り添い身近な存在となれるように各地域の部長と連携してまいります。微力非才の身ではございますが、誠心誠意努めてまいります。よろしくお願い申し上げます。

運営委員 末岡沙知子・村田麻由美

学術事業部長

弘津 公子



学術事業について

学術事業部長の弘津公子です。学術部では、主に、会員の皆様方の研修並びに生涯教育の企画運営を担当致します。多くの皆様にご参加頂ける研修会を、企画していきたいと考えております。ご協力を、よろしくお願い致します。

運営委員 青木 直美・高橋 浩子
永谷真由美・福永 麻美

組織・広報事業部長

松村 史樹



「withコロナの組織作り」

コロナ騒動の大変な幕開けとなりましたが、だからこそこれからの組織運営にも改革が必要なのだと思います。2年間の任期を通じて、ITを活用した研修会や会議の構築と、読んでもらえる広報作りに取り組んでいきます。

運営委員 (組織) 木村 秀喜
(広報) 田尾 郁恵・中津井貴子
三井 洋子

あるある漫画のコーナー

甘いものは嫌いじゃけえ



©うさだのい 2020

「あるある」ネタを募集してます(^^)

栄養士の仕事の中で、4コマ漫画になりそうな「こんなことあるよね!」とか「こんなことがあったよ」なんて話がありましたら、是非ご投稿ください。投稿に際しては、所属専門部会名、本名、あるあるネタをお書きいただき、メールをお願いいたします。なお採用された方には粗品を進呈させていただきます。面白い話しをお待ちしていま〜す(^^)

投稿先: info@yama-ei.com

「栄養ワUNDER-2020」の『予防めし』で
Instagramデビュー苦労話

地域活動 吉本 まゆみ



今年の「栄養ワUNDER」で予防メシ募集をホームページで見つけた時、協賛商品がいただけるという言葉にも惹かれ、即参加登録を試みました。ところが、スマホも使いこなせてないおばさんですので、登録項目の「Instagram」が何者であるかを調べるところから始まり、アカウントを作成し……と参加登録するまででかなりのエネルギーを使ってしまいました。その後も『投稿文の最後に#(ハッシュタグ)をつけた単語を記載する。写真に予防メシのロゴを張り付ける。』など初めてのことで、日栄担当者の方やいろいろな方に教えてもらいながらの挑戦となりました。

テーマは『栄養をたのしむ - 「栄養のチカラ」で、感染症に負けない! -』大切な人を守る、明日から実践できる「予防めし」でしたので、「①さまざまな栄養素を摂取できるように、「注目栄養素」を示し、その栄養素が豊富に含まれる料理とそのレシピを紹介」「②その料理を組み込んだ1食分のバランスの良い食事」を提案しました。

山口県栄養士会からも数名の参加者がいらっしゃるようです。まだInstagramを始めていない方もこの機会にInstagramの中の全国の日栄会員の方の素敵なメニューの写真を覗いてみられませんか?!

予防めしレシピ集
<https://www.nutas.jp/84/yobomeshi/>





高齢者の栄養管理に特化したeラーニング



TNT-Geriatric for Dietitianが始まりました

総務省統計局によりますと、令和元年10月1日現在の日本人人口は1億2373万1千人。その内65歳以上の人口は3588万5千人で、総人口に占める割合は28.4%と過去最高となりました。平成7年には14.6%だった65歳以上人口が、約30年の間に約2倍となり、さらに令和37年には38.0%まで増加することが推測されています。人口の約3割が高齢者となる社会の中で、高齢者に関わる職域者がより高度な業務を行えるように作られたTNT-Geriatric for Dietitianです。すべての職域が「地域包括ケアシステム」に関わっていくためにも学が意義のあるプログラムではないでしょうか？

地域包括ケアシステムが解らない方は、「厚生労働省 地域包括ケアシステム」で検索してみましょう！



地域包括



TNT-D

「TNT-Dをモデル受講してみて」

山口赤十字病院 管理栄養士

溝口 大輝

私が高齢者栄養療法(TNT-G)をモデル受講した動機は、業務上高齢者と深く関わる機会を多く持つ中で、学んできた知識だけでは対象者に寄り添った介入が出来ていないと感じていたからです。

このプログラムでは、高齢者の生理的特徴や高齢者を取り巻く現状を知ることが出来ました。特に、高齢者の「やりたい」を妨げる様々な要因(ポリファーマシー、独居、経済問題など)を学べた事は高齢者の生活背景を考える上で非常に役立ちました。

e-ラーニングでの学習は場所や時間を選ばず自分のペースで行う事が出来ました。また途中で動画を止められ、何度も繰り返し受講できる事が更に深く学ぶ手助けになりました。



皆さんも是非TNT-Dを受講してはいかがでしょうか。

～第1回の受講者にアンケートをしました(#^^#)～

①所属の職域は？		②興味のある学習内容best3！			
医療	23	順位	プログラム		
学校健康教育	0	1	B-2	心・肺疾患、感染症、脱水・輸液の種類	13
公衆衛生	1	2	A-2	栄養障害と要介護状態 (フレイル・サルコペニア、フレイル)	11
研究・教育	0	3	A-1	栄養状態に影響を与える加齢による生理的变化	9
勤労者支援	0		C-1	糖尿病（高齢者の特徴）とCKD	9
地域活動	1		C-3	創傷治療、褥瘡、骨粗鬆症、骨折	9
福祉	6				
計	31				

③受講しようと思った動機は？

自分の為 …… 自己研鑽(3)、興味があった(2)、知識習得(2)、最新情報の取得(2)
 仕事関連 …… 業務に必要なと思った、仕事に生かすため、高齢者の食事に関わるようになった
 研修機会 …… オンラインなので時間管理が可能、認定更新の為、移動せずに受講ができる研修の機会が減少したから
 その他 …… 正しい情報を周囲に伝えたい、高齢者の食生活等を学びたい
 今後直面する問題の1つであるため、地域の栄養グループLINEからの情報

事務局より

- 1 研修会開催についてはホームページに最新情報を掲載しています。不明な点は、事務局までお問い合わせください。
- 2 日本栄養士会ホームページのログインパスワードをお忘れのかたは、事務局までお知らせください。